

非加熱のえび、かにを測定する際の推奨抽出方法

1. 測定試料を氷冷しながら均一になるようにミキサー等で粉砕します。
2. 粉砕したサンプル 1 g を 50 mL 容プラスチック製遠心管などに取り、検体抽出液 19 mL (「【試薬の調製法】7.検体抽出液の調製」参照)を加えてよく振り混ぜて混合し、固形分を均等に分散させます。
3. サンプルを分散後、速やかに沸騰水中で 30 分間加熱します。加熱処理は遠心管中の溶液が十分に浸るように行う。
4. 遠心管を室温に戻し、 $3,000 \times g$ 以上で 20 分間室温 (20~25°C) にて遠心分離し、上清を分取します。沈渣が得られない場合は上清をろ紙でろ過し、ろ過液とします。
5. 以降の操作は甲殻類キットⅡ「マルハニチロ」<取扱説明書>に従って行います。